

# 令和2年度 事業報告

令和3年4月1日  
おおぞらこども園

## 1. こども園の運営

(1) 所在地 貝塚市二色2丁目11-1

(2) 職員配置 (令和2年4月1日現在)

内訳

- ・園長 1名
- ・事務長 1名
- ・主幹保育教諭 2名
- ・副主幹保育教諭 1名
- ・保育教諭 26名 (主幹保育教諭・副主幹保育教諭含む)

(わきはまこども園からの異動職員1名含む)

(産休中の職員を含む)

- ・保育補助 1名
- ・管理栄養士 1名
- ・調理員 5名 (淀川食品株式会社所属)
- ・安全指導員 2名 (シルバー人材派遣センター所属)

(3) 園児

- ・定員(2・3号認定) 90名 (実数104名)
- ・定員(1号認定・新2号認定) 15名 (実数 8名)

## 2. 教育・保育目標

教育基本法及び就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき「心身ともに健全で豊かな人間関係をもつ子どもの育成」を目指す。

全ての乳幼児に、“等しく”“心身ともに健全な生活と発達”“福祉と教育”を保障すべく愛ある教育と保育の振興と推進を目的とする。

- \* 人権を守り一人ひとりを受容する。
- \* くつろげる環境の中で体験的遊びを通して総合的な教育・保育を行う。
- \* 一人ひとりの発達を理解し、主体活動を重視しながら生活のリズムを大切にする。
- \* 国際的視野を持ち家庭的な教育・保育を行う。
- \* 安全環境づくりに取り組み地域に根ざすこども園運営を目指す。
- \* 教育・保育アセスメントを基にした教育・保育実践の中で、思いやりの心を育み健全な心と体づくりに取り組む。
- \* 子ども一人ひとりの可能性を伸ばし、のびのびと遊び自ら考え行動する力を培う。

## I 教育・保育時間

< 1号認定 > < 新2号認定 >

- 開園時間 (月曜日から土曜日 (日曜日、祝日 [年末年始等] を除く)  
(基本時間)

月曜日～金曜日：午前9時～午後3時30分 (※午後3時31分以降別途有料)

土曜日使用不可

休園日

土曜日、日曜日、国民の祝祭日、創立記念日、本園の定める日

お盆期間:8/8(土)～8/15(土) 年末年始:12/25(金)～1/7(木) 春休み :3/20(土)～3/31(水)  
(新2号認定) 希望保育 保育希望者(※別途有料)

・感染症発生により園長及び学校医が必要と認めた時 ・災害発生時

< 2号認定 >

- 開園時間 (月曜日から土曜日 (日曜日、祝日 [年末年始等] を除く)  
保育短時間 午前9時00分～午後5時00分(※午後5時01分以降別途有料)  
保育標準時間 午前7時00分～午後6時00分  
延長保育時間 午後6時01分～午後7時00分(※別途有料)  
休園日

土曜日、日曜日、国民の祝祭日、創立記念日、本園の定める日

お盆希望保育:8/13(木)～8/15(土) 年末年始:12/29(火)～1/2(土)

・感染症発生により園長及び学校医が必要と認めた時 ・災害発生時

## II 教育・保育内容

- カリキュラム・デイリープログラム等は園長・主幹保育教諭・保育教諭が子どもの発達に応じた内容を協議し努めた。  
クラスごとに年間を通しての研究課題を決め研究を進め、その経過は、毎月のクラスだよりと年度末に進級だよりに掲載して教育・保育の理解を図った。  
ホームページで研究発表を令和2年度6月に公開した。

- 教育・保育主体的遊び

ピラミッドメソッド保育を中心に展開し、環境保育の充実を図った。

### \* 0歳児クラス

・担当制の充実

・研究課題 (五感を育てる)

五感を刺激する事が、赤ちゃんの情緒や心身の発達に大きく成長して欲しいと思い (五感を刺激する遊び) をテーマにした。

子どもたちと触れ合う機会を多く持ち、関係作りを基盤に遊びを通して、楽しい・おもしろいを大切に進めた。

沢山の遊びを発信し提供する中で、子どもたちが自分の遊びに転換して楽しむ様になっていった。

#### \* 1歳児クラス

- ・担当制の充実を図った。

- ・研究課題（言葉を育む）

絵本・歌等を通して、楽しみながら言葉を育む事をテーマにした。

自発的に子どもたちから言葉を発する事が出来る様に、着脱・食事・排泄・午睡・動物の鳴き声等身近に感じられる絵本を取り入れ、子どもの成長を見守った。

丁寧な関わりの中で、言葉の楽しさを感じられる様な関わりが大切である事を学んだ。

#### \* 2歳児クラス

- ・げんき工房（運動遊び）に取り組み体力強化に努めた。

- ・園庭でランニングを行った。

- ・研究課題（粘土遊び～指先を使った遊びを通して～）

昨年の1歳児クラスの研究課題が指先を使った遊びであったため、引き続き子どもの指先遊びを通して成長・発達を研究するためテーマにした。

粘土遊びに繋がる様々な遊びを通して、握る・こねる・丸める等感触や指の動きを楽しみながら、子どもの成長・変化を観察した。

ボタン掛け・片栗粘土・洗濯ハサミ・広告遊び等指先の遊びをする中で、粘土遊びを導入した。粘土遊びを通して友達との関わりも多くみられる様になった。

#### \* 3歳児クラス

- ・研究課題（製作造形遊び）「全身で遊ぼう」

- ・身近にある様々な材料の感触を楽しみ、形や物を作り上げる楽しさを一年通して全身で味わう様に（製作造形遊び）「全身で遊ぼう」をテーマにした。

〈想像力や豊かな感性が身に付く〉〈季節に応じた製作活動から様々な文化を知る〉〈製作造形遊びを通して友達とのコミュニケーション力を養う〉を軸に、皆で楽しめる内容を基本として、3歳児ならではの様々な製作造形に取り組んだ。

一人ひとりの表現に受け止めて共感する事が、子どもたちの感性や表現する力を養い創造力を豊かにする事を繋がっている事を学んだ。

- ・アトリエ工房で3・4・5歳児クラスが合同で製作活動を行った。

（七夕・クリスマス・節分）

#### \* 4歳児クラス

- ・英語遊び・体育指導・S I あそび《ギルフォード教材》・硬筆〈当園独自のプリント使用〉

- ・研究課題（感覚遊び）

4歳児クラスになり活動も増えた中で、楽しかった・やってみたい等全員が無理なく楽しめる(感覚遊び)をテーマにした。個人遊びではなく、グループでの取り組みとして進めていく事で仲間意識を育む様に取り組んだ。

感覚遊びを通して集中して取り組むだけではなく、味わう楽しさから気づきが広がり、他児と共有しながら活動を楽しめる様になった。普段の活動の中でも(やってみよう)(どうなるのだろう)という気持ちが育ち、興味・関心が増えてきた。

- ・アトリエ工房で3・4・5歳児クラスが合同で製作活動を行った。  
(七夕・クリスマス・節分)

## \* 5歳児クラス

- ・フェアリーキッズ(自然散策野外活動)・英語遊び・体育指導(剣道導入)S Iあそび《ギルフォード教材》・習字(硬筆・毛筆)・おおぞらステップ(知育遊び《そろばん》)5歳児クラスの硬筆最終目的は、絵本を熟読し感想文を作成した後、皆の前で発表した。
- ・5歳児クラスがプレゼンテーションを、年1回プロジェクターを使用して行った。
- ・研究課題(不思議遊び)  
普段何気なく見ているものに対して「なぜだろう」「どうなっているんだろう」など興味関心を示したり、不思議に思った事を「調べよう」「やってみよう」探求心を育む場としてテーマにした。子どもたちは実験が大好きで、毎日目を輝かせていた。不思議に感じた事を友達に伝えたり発表する事で共有し、「学び」へと繋がっていった。
- ・アトリエ工房で3・4・5歳児クラスが合同で製作活動を行った。  
七夕・クリスマス・節分)

○0歳児～5歳児クラスまで散歩等戸外活動を通して自然と触れ合う活動を重視した。  
年2回バスを利用して郊外保育を実施した。

バス代を保護者より徴収する。《バス代を園児数で割る(明細は公開する)》

○食育活動を家庭・地域にアピール

当園のホームページで給食メニューの写真を公開し、職場でも閲覧出来る様に努めた。

おおぞら給食レシピ本作成(浜手地区公民館・のんびりルームに設置)

食育の保育を毎月19日前後に実施した。(食育保育活動内容を保護者に伝達)

食育の指導計画を再度見直し充実を図った。(手づくりの教材<園の給食の写真等>追加)

- ・アレルギー対応に努めた。

アレルギー児も他児と同じように食べられる「なかよし給食」の充実、またはそれに付随する業務を行った。

- ・鉄分を含んだおやつのお工夫を行う。給食メニューを写真で公開(ホームページ)月平均栄養価と毎日のエネルギー量を掲載した。

○外部講師依頼

手話・絵画(アトリエ・ズガ)

○あひろの子劇団の公演を年2回行った。(2回はホームページで動画発信した)

○絵本の充実

のんびりルームに新刊93冊追加（新刊絵本をホームページにて紹介）

購入した絵本リストを冊子に作成と絵本の救急箱充実

- 行事後に保護者にアンケートを実施して回答を配布
- おおぞら通信（令和2年度の教育・保育計画の発行紙）  
教育・保育内容を図式化した内容と説明文を添付
- ホームページに今日の活動を発信
- 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に伴う自己評価（保育者・設置者）のリーダーとしてのコーディネーター習得  
（幼保連携型認定こども園教育・保育要領自己評価実践園認定）

### 3. 地域交流事業・子育て支援事業

- 二色小学校
  - ・貝塚市立二色小学校職業講話等担当した。
  - ・年長児が、園だより・給食だよりを小学校に届け、子どもたちが校長・教頭先生から小学校での生活の様子を聞く（園だより、給食だよりは小学校玄関で掲示）
  - ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく全体的な計画を持参し指導内容の連携に努めた。
- 第五中学校
  - ・津波に伴う平日の避難訓練を令和3年1月15日（金）第五中学校の校舎に避難した。
- 公民館
  - ・公民館のおおぞらブースに、子育てのアドバイス・園だより・給食だより・おおぞらレシピの冊子等のお知らせを掲示して、子育て支援の援助を行った。
- その他
  - ・園児の作品展示を貝塚駅前のスーパーマーケット前に展示した。
  - ・年2回すこやかネット会議に参加した。（教育協議会・学校支援地域本部）
  - ・貝塚いぶき作業所との交流  
玩具の購入・陶芸活動参加
  - ・地域機関紙(パコネット)に当園の記事の連載
  - ・近隣に園だより・給食だよりを毎月配布（二色4丁目3番地に配布を追加）

### 令和2年度新型コロナウイルス感染防止のため中止した事業

- ・こども園体験事業  
スマイルキッズ・園庭開放・グルメランチ・子どもロビーコンサート
- ・子育て支援事業  
子育て相談の窓口設置（浜手地区公民館）・人形劇公演（浜手地区公民館）・夕涼み会（地域盆踊りと連携）・菜園活動・子育てセミナー等
- ・シニア世代交流  
うぐいすクラブ・老人施設訪問・浜手地区公民館茶道クラブとの交流

- ・地域会議に参加、団体との連携協力の促進  
二色校区福祉委員会参加・常任委員会
- ・貝塚市立二色小学校・貝塚市立第五中学校の入学式と卒業式  
おもちゃ広場（2年生）・社会見学（4年生）
- ・第五中学校3年生との交流（ふれあい遊び）  
校庭のマラソン・菜園活動
- ・防犯・防災訓練
- ・地域貢献事業(しあわせネットワーク)の生活困窮レスキュー事業
- ・令和元年度から10年間の二色パークタウンの街のテーマ(浜手地区公民館を拠点に地域の絆)当園も浜手地区公民館を中心に地域交流
- ・貝塚いぶき作業所との交流  
いぶき祭りに園児の作品を展示
- ・貝塚市移動図書館
- ・わきはまこども園の園児との交流（5歳児クラス）《田舎体験・コンサート鑑賞等》
- ・5歳児クラスのディキャンプを中止し、11月に紀泉わいわい村で里山体験に変更
- ・体育指導の雪遊びを3月に紀泉わいわい村でお別れ遠足に変更
- ・試食会
- ・みかん狩り5歳児クラスのみ参加（4歳児クラス中止）
- ・参観日(父母、祖父母)・個人懇談
- ・外部コンサート
- ・英語遊び・硬筆・おおぞらステップ（参観）
- ・3歳児クラス郊外保育

#### 4. 職務担当

- 行事担当・月当番等担当保育教諭を定め、園長は総括指揮に努めた。
- 運営事務全般等は事務長が指揮に努めた。
- 管理栄養士のもと給食の充実に努めた。
- 学校医・薬剤師・歯科医・英語指導員・体育指導員は外部委託契約。

#### 5. 教育・保育設備

- 送迎時タッチパネルで、能率のよい運営を図った。
- 大型遊具を重点的にメンテナンス業者に委託し安全管理を図った。
- 資金計画  
委託費収入と補助金収入で円滑に進めた。  
(施設機能強化事業補助金《2階テラスマット購入》・子育て支援保育士事業補助金)
- 教育・保育環境備品の設備と充実に努めた。

#### \*新型コロナウイルス感染症に伴う購入

- ・ミニキーボードを26台
- ・紫外線衛生保管庫（4・5歳児クラス歯ブラシ使用）

- ・空気清浄機（2台購入）・水清浄機（3台）
- ・個人用机購入（5歳児クラス20台）
- ・非接触型電子体温計
- ・午睡用コット（3・4歳児クラス）
- ・自動消毒機械
- ・アクリル板パーテーション
- ・コップ除菌庫

\*工事

- ・3歳児クラストイレ
- ・手洗い場・足洗い場
- ・2階テラス扉の施錠
- ・4・5歳児クラスカーテンレール設置

\*その他

- ・ホームページリニューアル（今日の活動をホームページで閲覧可能）
- ・プロジェクター・スクリーン購入
- ・砂場の砂追加
- ・事務所にパソコン1台購入
- ・給食備品と設備の充実

○その他

- ・研修の充実（オンライン研修中心）
- ・園規定等の見直し
- ・職員福利厚生の充実
- ・職員体制の改善
- ・職員の休憩時間確保
- ・非常災害備品の備えと点検
- ・職員・園児名簿等は別紙参照